

1. 社会的企業としての理念

- ◇ 社会を良くしたい。そのために、社会を変えたい人や団体と、共栄のためのWIN—WIN（両者が栄える）の関係を創出していきたいと考えます。

2. 森林再開発の理念（フィロソフィー）

- ◇ 地球にホスピタリティ（思いやり）
- ◇ 「幸福の共存」「幸福のためのWIN—WIN」

3. 目指す方向性（ポリシー）

- ◇ 京都議定書で「地球」と約束した数値目標の達成
- ◇ 江戸時代のような人と自然が共存する循環型社会の構築
- ◇ 弱者に思いやりのある高福祉低負担社会の構築
- ◇ いくつになっても働ける高齢者社会参加システムの構築
- ◇ 団塊の世代の方々の「生きがい」「働きがい」「社会参加意欲」の創出
- ◇ 国際労働機関（ILO）が推進するディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を可能にする障がい者の労働環境整備
- ◇ 森林資源活用により日本を「環境立国」「新エネルギー立国」へ
- ◇ 限界集落を若者がUターン、Iターンする「希望集落」へ
- ◇ 杉・ヒノキの人工林の再構築により、GDPを押し下げている「花粉症」を撲滅

<この国の行き先>

<http://gpscompany.blogdehp.ne.jp/image/BAF61107.pdf>



日本人の固定観念

- ◇ 間伐した杉材は現場に放置
- ◇ 堆肥やバイオマス燃料になる枝葉も現場に放置

固定観念を打破すれば、杉山林は日本や地球環境を救う「宝物」になります！

（埼玉県飯能市の杉山林）

4. 必要とされる固定観念の打破

- ◇ 日本の杉・ヒノキの人工林には価値がない
 - ・ 日本規格ではなく、欧米規格（2×4材）に加工することにより、人工林は「宝の山」に変わります。
 - ・ 2×4材は短いため、日本の技術の結晶である「四輪駆動の軽トラック」が大活躍し、大掛かりの林道整備も必要としません。
 - ・ 地震に強い2×4材の特長はこちらから <http://www.mokuzo.com/2-4/index.html>
- ◇ 木材の燃焼エネルギーは石油エネルギーに太刀打ちできない
 - ・ 乾燥した木材や木質バイオマスペレットの1kg当りの燃焼カロリーは、灯油1リットルの燃焼カロリーの約半分です。つまり、乾燥した2kgの木材は灯油1リットルと同じ商品価値があるということであり、森林の樹木に限らず、生活地域の樹木もすべて灯油とエネルギー換算することにより、この国が資源大国であることが分かります。
- ◇ 雑草や剪定枝、残飯や割り箸は捨てるしかない
 - ・ すべて炭化することにより商品化されます。炭化に関する技術開発は済んでおり、残された問題は、小規模施設が安価で植物や残飯を乾燥させる（腐敗を防止する）乾燥材としての炭の大量生産だけです。

- ◇ 傷がい者施設は永遠にタックス・イーター
 - ・ 炭化事業に参入することにより税金を払うタックス・ペイヤー施設へ変わります。日本で1年間に消費する割り箸をつくる木材は47万立方メートルだそうですが、これを捨てずに炭化して商品化することにより、年間何十億円もの商品を生み出します。
 - ・ 炭化事業以外にも、膨大な「無料の燃料エネルギー」を徹底活用した「バイオマス銭湯」や「竹炭サウナ」などの新たな事業に参入することにより、社会に貢献する施設へと大変身を遂げます。
 - ◇ 植物からは液晶などできるわけではない
 - ・ セルロース学会のホームページにはこのように書かれています。「セルロース学会で、セルロースから液晶ができるという発表がありました。この液晶は電気を流すことにより、赤とか緑の色を出します。実用化するにはもっと研究する必要がありますが、そのうち杉から作られた液晶のディスプレイとか、松から作った液晶を使ったテレビが売り出されるかもしれません。」
5. 森林再開発による山村の工場化や循環型社会の構築が生み出す副産物
 - ◇ 高齢者や障がい者をタックス・ペイヤーにする障がい者産業の創出
 - ◇ デンプンやスターチ、セルロースなどの「多糖類」の大量生産
 - ◇ エチゼンクラゲをも燃料エネルギーやコラーゲンサプリメントなどに商品化させる乾燥材（竹炭、木炭、残飯炭など）の大量生産
 - ◇ 堆肥や腐葉土、炭、木酢液などの土地改良材の大量生産
 6. 川上の森林再開発がもたらす川下産業の繁栄
 - ◇ 安価な2×4材や日本規格材を大量に生産することにもなう建築市場の拡大
 - ◇ 木炭化装置や木材乾燥装置などバイオマス・エネルギー関連設備の需要拡大
 - ◇ 安価な乾燥材の大量供給によって可能になる「ゴミ収拾業者」の「エネルギー製造業者」への転進
 - ◇ 薬樹の大量植林にもなう製薬会社や健康食品製造会社の継続的成長
 - ◇ 民間運営の山村型木造グリーンピアの大量創出にもなう年金保養事業の活性化
 - ◇ 山村の観光地化にもなう国内旅行産業の継続的成長
 - ◇ この外に、JAグループの活性化など日本経済の起爆剤的効果を発揮
 7. ポリシー実現するための具体的な方策（プログラム）
 - ◇ 農林エネルギー革命により循環型高福祉社会を構築するための実行策
<http://gpscompany.blogdehp.ne.jp/image/11.pdf>
 - ◇ タ張再生実行策（総論）
<http://gpscompany.blogdehp.ne.jp/image/CDBCC4A5.pdf>
 8. プログラムを構成する具体的な活動内容（プロジェクト）
 - ◇ タ張再建のための第一次事業化プラン（各論）
<http://gpscompany.blogdehp.ne.jp/image/23.pdf>
 9. 根拠
 - ◇ 日本の最先端技術
<http://gpscompany.blogdehp.ne.jp/image/B5BB.pdf>
 - ◇ アグロフォレストリー（混農林業）が日本社会を救う
<http://gpscompany.blogdehp.ne.jp/article/13293659.html>
※ 長いです。
 - ◇ プロフィールはこちらから（木工家だから発想できるのです）
<http://www.gps-company.jp/profile0709.html>

株式会社 外部の専門家

189-0023 東京都東村山市美住町2-2-5 2

042-390-0661

mn@gps-company.jp

<http://gpscompany.blogdehp.ne.jp>